

岸教総適第6号  
令和4年7月19日

岸和田市天神山校区連合会 会長  
田中 政男 様  
岸和田市天神山地区市民協議会 会長  
稲田 宏 様

岸和田市長 永野 耕平  
岸和田市教育委員会教育長 大下 達哉

平素より、本市教育行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、貴会より令和4年1月17日付でご提出いただきました「岸和田市立小・中学校適正規模及び適正配置実施計画に関する要請書」について、令和4年7月5日付で回答要請をお受けしましたので、以下の通り回答いたします。

#### 記

昭和54年に開校した天神山小学校は、天神山町における人口増加に伴い、ピーク時の平成元年には、児童数731名、学級数21の学校でありましたが、その後は年々減少し、令和4年では児童数120名、全学年が単学級の学校となっています。

数年後には、児童数が100名を下回る見込みであり、さらなる学校小規模化の課題が懸念されることから、将来の子どもたちにより良い教育を保障する上で、適正規模・適正配置の取組は避けて通れないものと考えています。

現在お示ししている「岸和田市立小・中学校適正規模及び適正配置実施計画（第1期）（案）」について、今後も引き続き地域の皆様や保護者の皆様等と十分な意見交換を行うために校区懇談会を設置し、より具体的で深い議論をさせていただきたいと考えており、その懇談会の場において、通学路の安全対策や、地域コミュニティの維持、避難場所の確保等様々な事項についてしっかりと話し合い、共通の認識に立って、これからの学校再編等のあり方を適切に判断していきたいと考えています。

また、まちの魅力向上や教育・子育て施策等の充実により、誰もが安心して住み続けることができるまちづくりに努めてまいります。

以上